



# 機鋒

TOUGEN NEWS

8月1日(木)

発行所 桃源院  
発行責任 桃源院 広瀬部  
〒191-0065 日野市旭が丘3-1-4  
編集 河野寛然 奥野麻子  
042-583-1133  
https://www.momo.or.jp

## 正しい祈り

“願い” “思い” を「叶えさせたい」とは、誰もが思うことです。「かなう」とは、漢字では「叶う」と書きます。「叶」は口と十で構成されています。漢字は本当によく考えて作られていて、口で十回言えば、願いは叶う、という意味なのです。同じ願いでも、頭の中で思い考えるだけではなく、その願いを口に出して言うことが大事です。言葉には力があります。強い喝喝の言葉には不安と恐れが生まれます。明るい言葉からは明るい結果が導き出されます。

「言葉は意識を変え、意識は行動を変え、行動は結果を変える」のです。そして、願いの実現力が最も強いやり方は、願いを感謝の祈りにする方法です。

日本語の「いのり」の語源は「生きる(い)ことを宣べる(のり)」つまり、自分の行動を宣言することなのです。自分の生命を感謝し、見守ってもらうことです。自分のことを願うのは「依存する」ことで、宣言することは「加護を求めること」。自分の生命に感謝し、見守ってもらう事が祈りの本来の意味とされています。

例えば、学業成就では「合格させてください」と祈るのではなく「合格できるように勉強しますので見守ってください」と祈ります。商売繁盛、恋愛成就なども同じで、あくまでも行動する主体は自分なのですから。

## 祈りの潜在意識の動き

- ・ 効果の実証されていない薬を患者に特効薬と言って投与すると本当に病気が治ってしまうという「プラシーボ効果」のような潜在意識に働きかけることが出来ます。
- ・ 祈ってもらった人と普通に入院していた患者では祈ってもらった患者は普通の入院患者より症状の改善がよく、治療の度合いが軽くなったという実験結果によって体に及ぼす影響も実証されています。

人間国宝の第十四代酒井田柿右衛門は、「1日1枚絵を描くこと」という言葉を遺しました。この言葉は絵付けの「絵」だけではなく、スポーツにも、仕事にも、全てのことに通じる言葉です。地道な努力が全ての基礎になるのです。どんなことでも最初から上手い人などいません。その才能を見つけてくれた人がいて、その才能を伸ばしてくれた人がいて、そして自分が強い意思を持って努力するから結果が付いてくるのです。気づいた時から種を蒔き続ければ、未来は拓け、志を果たすことが出来るものです。

そして何よりも自分が楽しい、面白いからやってみよう・・・と思って、ワクワクすることをやる。そうじゃないと結局続かないから。ワクワクしないことにはパワーが湧かないし、上手い出来ないものです。成功したければ、自分がワクワクすることです。また人間は、できないと思うことは思いつきません。できる能力があるから、思いつくのです。まずできると信じる。できないと思ったらできない。

大切なのは、自分の叶えたい“願い”を言葉で発し、正しい祈りで外からの見守りと加護、内面から高まる潜在意識を味方にします。そして、出来ると信じて行動することが、最も大切なことなのです。



花祭りとは灌仏会とも呼ばれ、お釈迦様の誕生日の四月八日に「子どもの身体健全・所願成就」を祈る仏教行事です。花祭りでは、たくさんのお釈迦様を飾りつけた花御堂を用意し、中心へ皿を敷いた上に誕生仏の像を安置します。

お釈迦様が誕生された時、その場で七歩あるいた後、右手を空へ左手を地へ指さし

て、  
天上天下唯我独尊  
と言いました。この瞬間のお釈迦様の姿を表した像が誕生仏です。  
天上天下唯我独尊とは、「天上でも地上でも、それぞれ私がいちばん尊い」という意味をもちますが、かけがえのない各々の人権と尊厳を示す言葉であるとも考えられています。



## 花まつり (釈尊降誕会)

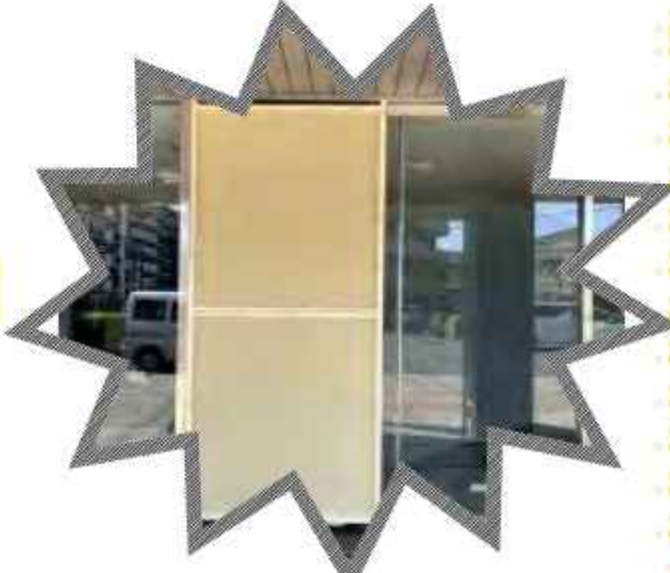
令和六年 四月三十日 (月曜日)

於、桃源院本院 「桃源院会館」



## 護持会総会

令和六年四月十九日の強風にあおられて粉々になったガラスの扉が交換されました。



## 紫雲表交換



